

名称変更	「避難準備情報」 → 「避難準備・高齢者等避難開始」
	「避難勧告」 → 「避難勧告」 ※名称変更なし
	「避難指示」 → 「避難指示（緊急）」

▼避難情報の種類、とるべき行動を再度ご確認ください！

※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難情報の種類	発令時の状況	とるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合	<ul style="list-style-type: none"> いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 避難に時間がかかる人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方等）は避難を開始しましょう。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所へ避難をしましょう。 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。
避難指示（緊急）	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内の安全な場所に避難をしましょう。

☎ 総合防災局 ☎(25) 8133

平成28年8月の台風第10号災害では、若手県の高齢者施設へ避難情報の意味するところが伝わっておらず、適切な避難行動がとられなかったことから尊い人命が犠牲になりました。

これを受け、高齢者等が避難を開始する段階であることを明確にするため、全国的に避難情報の名称が、次の通り変更されました。

「避難準備情報」の名称が変わりました！

高島市では、災害時には防災行政無線や携帯電話へのエリアメールで避難情報をお知らせします。



交通事故発生状況

☎高島警察署 ☎(22)0110

(平成29年1月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	7件	+2件
死者数	1人	+1人
傷者数	8人	+1人

発生場所	件数
マキノ	3件
今津	1件
朽木	0件
安曇川	2件
高島	1件
新旭	0件

※概数

火災・救急・救助件数

☎消防総務課 ☎(22)5401

(平成29年1月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	0件	0件
車両	0件	0件
林野	0件	0件
その他	0件	0件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	14件	14件
一般負傷	59件	59件
急病	206件	206件
その他	26件	26件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	2件	2件
水難事故	0件	0件
その他	2件	2件

環境放射線測定結果

☎原子力防災対策室 ☎(25)8133

1月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.064 μ Sv/h	0.072 μ Sv/h
今津(今津支所玄関北側) 0.057 μ Sv/h	0.061 μ Sv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.078 μ Sv/h	0.073 μ Sv/h
安曇川(安曇川支所裏駐車場) 0.042 μ Sv/h	0.053 μ Sv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.053 μ Sv/h	0.059 μ Sv/h
新旭(市役所北側玄関前) 0.068 μ Sv/h	0.080 μ Sv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
 ※通常の値はおおむね0.2 μ Sv/h以下です。

今年度のがん検診は受診されましたか？

医療機関でも受診できますので、このチャンスをお逃さないください。
 ◆医療機関での大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は、**3月31日(金)まで受診**できます。

「たった一日で一年の安心！」
必ずがん検診を受けましょう！
 (一部抜粋)
 市民の方からのお声をいただきましたので、ご紹介いたします。

乳がんが分かったきっかけは、検診でした。最初の診断は良性の「乳腺症」でした。良性ではあるけれど悪いものになるおそれもあるので半年に1回は定期検査に来るようにお医者さまに言われました。不安だったので最初の半年の検査は行きました。異常なしでした。次の半年の検査は仕事の忙しさで診察の煩わしさもあり行きませんでした。そして、その後また検診でさらに引っぱり、精密検査の結果、初期の乳がんであることがわかりました。初期であり転移も認められず、乳がんのタイプにもよるのですが、私の場合は抗がん剤治療を受けなくて済みました。手術による部分切除、放射線治療、ホルモン療法を終え、今は病気になる前とほとんど変わらない生活を送っています。発見が遅れて転移していたり進行していたら、今の生活はなかったかもしれません。大切な人と笑顔で自分の人生を過ごせるよう、ぜひ定期的に検診を受けていただきたいと思えます。

(40代・女性)

「市営住宅地域」あいらタウン
健康福祉の地域づくり
 区長さんにインタビュー
 今津町市ヶ崎区



市ヶ崎区区長 坂上 正信さん

今回、健康福祉の地域づくりを積極的に進められている今津町市ヶ崎区の区長 坂上さんに、活動のきっかけや今後の思いについて、お話を伺いました。

○活動のきっかけ

市ヶ崎地区は、今津町時代に福祉のまちとして「あいらタウン」構想の中で整備された市営住宅の地区です。つながりが薄く顔の見えにくい団地内の状況から不安に思っている高齢者の方が多く、また、役員の手にも困り、どうしたものかと悩んでいました。このようなかた、3年前に今津保健センターが全世帯にされたアンケート調査の、孤立しがちで不安を持つ人が多い、子どもから高齢者まで交流の場が必要、という結果を自治会内に伝えるところから活動を始めました。

○活動の広がり

昨年は、子どもたちの集まれる場も大事だということ、ご家庭も親子広場も開催しました。ふれあいサロンに参加されない高齢者の方にも声をかけ、「お互いに声をかけ合い安心して暮らせること」を目指して活動しています。



子ども親子広場でつくったクリスマスツリー

○今後の思い

今後は、周辺の医療・福祉施設ともよい関係を築きながら、活動を進めていきたいと考えています。ここまで広がった活動を縮めてしまわないように、みんなで協力し楽しく活動していきたいと思っています。